



人は誰でもつい差別をしてしまう（無自覚の差別）

12月6日（金）6校時、体育館で異学年で構成したグループによる人権集会を行いました。

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症は、2020年に入ってから世界中で感染が拡大しました（パンデミック）。日本では2020年2月末、突如として全国の学校が一斉に臨時休校することが宣言されました。今から4年前のことですので、覚えていることでしょう。4月になり新年度が始まってすぐ緊急事態宣言が出され、再び休校となりました。忘れてしまっているかもしれませんが、そういった時期に何があったか思い出してください。



◇医療関係者と、その家族に対して差別的な言動があった

（看護師さんの子供が保育所に預けてもらえなかったなど）

◇高速道路のインターの降り口で県外ナンバー車かどうかをチェックしていた

◇県外ナンバー車の方は、ステッカーを貼って県内在住をアピールしていた

◇飲食店を営業しているだけで、非難されていた

◇クラスターが発生した飲食店や大学がどこなのか詮索し話を広めていた

◇お店のシャッターや扉に、誹謗中傷の張り紙をされていた（つぶれた店もあった）

◇クラスターが発生した大学の学生の家族が入店拒否された

◇マスクをしていない人が飛行機に乗ることを拒否された

◇日本で暮らす外国籍の人（特にアジア系）に対する心無い言動

これらのことが堂々で行われていました。そして、その言動は正義と信じられ、疑問をもつ声はごく一部報道はされても、多くはかき消されていました。みなさんはこれから「歴史の証人」としてこの記憶を忘れずにいてほしいものです。



無意識の差別・無自覚の差別

自分は差別なんてしないと思っている人でも、悪意なく知らずに差別してしまうことがあります。人は誰もが簡単に差別する側になり、差別される側になりえるのです。コロナ騒動はそのことがよく分かる事例であり、みなさん自身が目の当たりにしました。

未知なものに対する恐怖心は、正常な思考を麻痺させます。デマを信じやすくなります。今後、みなさんが冷静に判断できる社会人になることを願っています。